

横浜みどり税を財源の一部に活用

横浜みどりアップ計画 [2019-2023]

2020(令和2)年度の実績 概要版

横浜の緑、育っています！

森を育む



新治市民の森(緑区)

農を感じる場をつくる



市庁舎での市内産農畜産物等の販売(中区)



家族で学ぶ農体験講座(保土ケ谷区)



奈良町の水田(青葉区)

緑や花をつくる



日本大通り(中区)



里山ガーデン(旭区)

緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を次世代に継承するため、「横浜みどり税」を財源の一部として活用しながら、「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」を進めています。このリーフレットは、2020(令和2)年度に実施した事業の実績を、概要としてまとめたものです。

横浜みどりアップ計画



横浜みどりアップ 葉っぱ



計画の柱1

市民とともに次世代につなぐ森を育む

樹林地の保全

- ・緑地保全制度に基づく指定により樹林地の保全が進展(28.9ha)
- ・相続など、不測の事態に対応した樹林地の買取り(18.9ha)

緑地保全制度による指定の実績

これまでのみどりアップ計画
(2009~2019年度)

11年間 **952ha**

みどりアップ計画以前
(1969~2008年度)

40年間 **861ha**



寺家町居谷戸特別緑地保全地区(青葉区)



長津田町長月特別緑地保全地区(緑区)

良好な森の育成

- ・愛護会などと連携して維持管理を実施(200か所)
- ・指定した樹林地で土地所有者が行う維持管理を支援(162件)



保全管理計画策定の様子
(上矢部ふれあいの樹林/戸塚区)



維持管理を実施した樹林地
(称名寺市民の森/金沢区)

森に関わるきっかけづくり・人材育成

- ・森づくり活動の体験会などを実施(研修9回、体験会7回)
- ・各区で森に関わるイベントを開催



森づくり体験会(緑区)



間伐材を活用した樹名板の取付け(南区)



計画の柱3

市民が実感できる緑や花をつくる

まちなかでの緑の創出・育成

- ・公共施設などでの緑の創出(12か所)、育成(50か所)
- ・地域で古くから親しまれている名木古木を指定(28本)、維持管理の助成(73本)



公共施設等での緑の創出
(下和泉地区センター/泉区)



公共施設等での緑の創出
(市立脳卒中・神経脊椎センター/磯子区)



名木古木の指定
(鶴見区)

緑や花による賑わいづくり

- ・都心臨海部などの多くの市民が訪れる場所において、緑や花による空間づくりや質の高い維持管理を集中的に展開(15か所)



久良岐公園(港南区)



キングモール橋(西区)

市民や企業と連携した緑のまちづくり

- ・地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する計画をつくり、実現していくための取組「地域みどりのまちづくり」を市と協働で実施(新規4地区、継続9地区)
- ・緑や花を身近に感じる取組を各区で実施



地域緑のまちづくり(港北区)



花壇の寄せ植えイベント(青葉区)

子どもを育てる空間での緑の創出・育成

- ・園庭・校庭の芝生化や、学校でのピオトープなどの整備(創出41か所、維持管理120か所)



保育園での緑の創出・育成(旭区)



小学校での緑の創出・育成(栄区)



計画の柱2

市民が身近に農を感じる場をつくる

農景観の保全

- ・貴重な農景観である水田を保全(113.3ha)
- ・まとまりのある農地を良好に維持する活動への支援(643.9ha)や、遊休農地の復元支援(0.28ha)



保全された水田(瀬谷区)



農地縁辺部への植栽(泉区)



復元前



復元後

遊休農地の復元(都筑区)

地産地消の推進

- ・直売所や加工所に必要な設備の導入支援(18件)
- ・青空市やマルシェの開催などへの支援(23件)
- ・人材の育成・企業との連携の推進



戸塚区地産地消PR・直売コーナー
(戸塚区)



はまふらんどコンシェルジュ活動支援
(保土ヶ谷区)

農にふれあう機会の創出

- ・食と農への関心や、農とのふれあいを求める様々な市民ニーズに合わせた農園の開設などの支援(3.98ha)
- ・市民が農を楽しむ体験教室(50回)、農体験講座(6回)



認定市民菜園(青葉区)



収穫体験農園(神奈川區)

効果的な広報の展開

取組の内容や実績について、より多くの皆様に知っていただくよう、積極的な広報を展開

- 広報よこはまへの記事掲載
- 実績リーフレットの配布
- 取組のプロモーション動画放映
- 鉄道への交通広告
- 取組の実施箇所への現地表示看板の設置
- メールマガジンやSNSによる情報発信



広報よこはまへの取組実績の記事掲載



市庁舎デジタルサイネージでの動画放映



線路沿いでの現地表示看板の設置

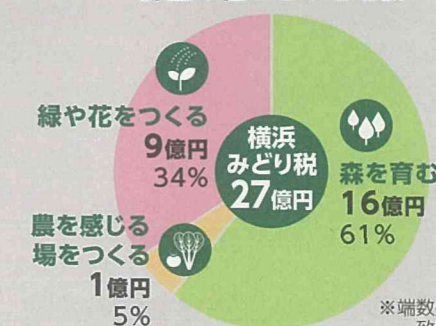


横浜市役所アトリウムでの動画放映

計画の事業費と横浜みどり税

2020(令和2)年度の事業費92億円のうち、横浜みどり税を27億円分充当し活用させていただきました。

計画の柱ごとの活用額



※端数処理により、合計値は一致していません

横浜みどり税の使い道

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税の課税方式

- 【個人】市民税の均等割に年間900円を上乗せ
- ※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除く
- 【法人】市民税の年間均等割額の9%相当額

※各イベントについては、感染症への対策をとりながら実施しました

市民の皆様の参加をお待ちしています/
みどりアップを体感しよう

横浜みどりアップ計画では、市民の皆様に緑を身近に感じていただけるよう、緑にふれる空間づくりやイベント開催を多数行っています。また、市民の皆様が緑や花を守り増やす取組をサポートする制度を設けています。ぜひ皆様も緑にふれ、横浜のみどりアップを体感してください。

みどりアップを楽しもう! /

イベント・体験のスポットをご紹介します

詳しくはHPをご覧ください



ほかにも、18区役所で様々な取組を行っています



◆◆◆◆ 森にふれる ◆◆◆◆

散策など森にふれる
イベントやスポット

ウェルカムセンター(5か所)
市民の森/ふれあいの樹林など
市民の森ガイドマップ/森づくり体験会



◆◆◆◆ 農にふれる ◆◆◆◆

農畜産物の直売など農にふれる
イベントやスポット

収穫体験農園/市民農園
直売所/マルシェ
よこはま地産地消サポート店



◆◆◆◆ 緑や花にふれる ◆◆◆◆

まち歩きなど緑や花にふれる
イベントやスポット

花の見どころカレンダー/ガーデンネック
レス横浜/里山ガーデンフェスタ
都心臨海部等の緑花



みどりアップの活動に参加しよう! /

市民の皆様が活用できる制度を一部ご紹介します

詳しくはHPをご覧ください



	制度名	制度内容	募集時期
団体・個人向け	① 地域緑のまちづくり	地域が主体となり、住宅地や商店街、オフィス街で緑を創出する計画をつくり、市と協働で緑化を進めます(費用助成あり)	4~6月
	② 人生記念樹の配布	出生、入学、還暦などの人生の節目を記念して、市内で生産された苗木を無料で配布(年2回)します	通年
	③ 名木古木の保存	古くから親しまれてきた故事、来歴などのある樹木を指定して所有者の維持管理を費用助成などで支援します	例年1月末まで
	④ 森づくり活動団体への支援	市民の森や都市公園内の樹林で活動する団体を対象に森づくりに必要なサポート(専門家派遣など)を行います	お問合せください
	⑤ 森づくりボランティア	森づくり活動団体が市と協働で行っている、市内の森を育む体験会や研修会に参加できます。	登録は通年
事業者・学校等向け	⑥ 地産地消ビジネス創出支援事業	地産地消に関するビジネスプランをつくる講座を開催し、選定された事業に対して費用を補助します	11月(予定)
	⑦ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	園庭・校庭の芝生化やビオトープの整備、花壇づくり、屋上緑化などの費用助成や技術サポートを行います	例年1月末まで
	⑧ 公開性のある緑空間の創出支援	多くの人が訪れる市街化区域の民有地で、公開性のある緑化などを行う事業者などに対し費用を助成します	例年1月末まで

横浜みどりアップ計画市民推進会議の活動

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、公募市民や学識経験者などから構成されている附属機関です。横浜みどりアップ計画の取組の検証や、現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめているほか、広報誌「みどりアップAction」を発行しています。

詳しくはHPをご覧ください



「みどりアップAction」

お問合せ

「横浜みどりアップ計画」について

環境創造局政策課
TEL.045-671-4214
FAX.045-550-4093

「横浜みどりアップ計画」の各事業について

環境創造局みどりアップ推進課
TEL.045-671-2712
FAX.045-224-6627

「横浜みどり税」について

各区役所税務課 または 財政局税務課
TEL.045-671-2253
FAX.045-641-2775
※「法人市民税」は財務局法人課税課
TEL.045-671-4481
FAX.045-210-0481



実績報告書はHPをご覧ください
区ごとの実績もご覧いただけます

横浜みどりアップ計画

検索

横浜みどり税

「横浜みどり税」は
「横浜みどりアップ計画」を進めていくために
ご負担いただいています。

緑豊かなまち横浜を次世代に継承することは重要な課題です。また、緑は一度失われると取り戻すことが困難です。

横浜市では、緑を守り、つくり、育む取組を進める「横浜みどりアップ計画」の重要な財源の一部として、平成21年度から市民の皆様にご負担いただいています。

いただいた「横浜みどり税」は、樹林地・農地の確実な担保、身近な緑化の推進などに活用しています。

横浜みどり税の
税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和5年度までです。



横浜みどりアップ 葉っぱー

横浜みどり税の
使いみち

- 1 樹林地・農地の確実な担保
- 2 身近な緑化の推進
- 3 維持管理の充実によるみどりの質の向上
- 4 ボランティアなど市民参画の促進につながる事業



計画の理念

みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜



5か年の目標

- ・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
- ・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
- ・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

計画の柱1

市民とともに



次世代につなぐ**森**を育む

5か年の主な取組

- 300haの樹林地を新規指定
- 指定した樹林地における維持管理の支援
- 森に関わるきっかけとなるイベントや広報を実施



保全した市民の森

計画の柱2

市民が身近に



農を感じる場をつくる

5か年の主な取組

- 水田の継続的な保全を支援
- 様々な農園を開設するなど、農とふれあう機会を提供
- 市民や企業と連携した地産地消の推進



保全した水田

計画の柱3

市民が実感できる



緑や花をつくる

5か年の主な取組

- 地域で愛されている並木を再生
- 地域緑のまちづくりや地域に根差した各区での取組を推進
- 緑や花による魅力ある空間づくりを推進



魅力ある空間づくり

この3つの計画の柱と合わせ、効果的な広報の展開に取り組みます



森林環境税（国税）と横浜みどり税



国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？



目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の推進を図るほか、今後本格化する学校建替事業の財源として活用していきます。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、目的と使いみちが異なります。



● 森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨(目的)	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間1,000円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和6年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で譲与（令和6年度までは、地方公共団体金融機構の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

- 「横浜みどり税」について
 - ▶ 財政局税務課 電話：045-671-2253 FAX：045-641-2775
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」について
 - ▶ 環境創造局政策課 電話：045-671-4214 FAX：045-550-4093
- 「横浜みどりアップ計画 [2019-2023]」の各事業について
 - ▶ 環境創造局みどりアップ推進課 電話：045-671-2712 FAX：045-224-6627